

高圧洗浄についてのご案内とお願い

サンリブではアフターメンテナンスの一環として、定期点検の終わる5年目に再びリフレッシュ美装するサービスを開始しています。お引き渡し時の状態を再現するのはきびしいですが高圧洗浄で少しでも復活出来たらとの思いからそれを採用しています。

ただ高圧洗浄は汚れや付着物が飛んでいくように、かなりの圧力が加わるために、本来飛んではいけない物まで吹き飛ばしてしまう危険性を含んでいます。

仕上げ方法や素材によっては出来ないものもあり、全ての物を高圧洗浄することが出来ません。

高圧洗浄サービスをさせていただくに際して、主な洗浄対象となる素材 仕上げによる適合性、あるいはリスクについてご説明させていただきます。

◇門柱 塀の洗浄

化粧ブロック・コンクリートブロック

ほとんど問題なく洗浄できます（ただし状態をみて水圧を調整することがあります）

タイル・レンガ・石貼り

ほとんど問題なく洗浄できます（ただし状態をみて水圧を調整することがあります）

吹付け・塗り壁（パレット・美プロ・ジョリパット等）

強い水圧が加わると吹付け・塗り壁は剥離することがあります

◇土間の洗浄（アプローチ・ガレージ・テラス）

コンクリート土間

ほとんど問題なく高圧洗浄ができます。

タイル 石貼り

あまり問題はないですが、通常はまったく支障ないし目に見えない目地のクラックが

ある場合、そこから目地が吹き飛んでしまうことがあります。
そのため担当者が判断して水圧を落としてする場合があり、その時は洗浄力もダウンすることになります。

インターロッキング・レンガ・平板

インターロッキングの美装には高圧洗浄が適しているのですが少し問題もありリスクを伴います。

問題点

インターそのものは綺麗になりますが、同時に隙間に入れている小さな（珪砂）も飛び散り、もう一度目地用の珪砂を入れる必要がでてきます。

洗浄して濡れている時には作業出来ないから後日改めての作業になります。
したがって珪砂の目地を入れる費用が必要になります。

良い点

高圧洗浄すると目地の砂と一緒に雑草も飛んでしまうからその点はメリットとして目地の雑草に悩んでいる方にはお薦めできます。ただ目地砂の飛び散るのは避けられないから再度目地砂の費用が発生します。

洗い出し

高圧での洗浄は少し問題があります。

土間に埋め込んである小さな石や歩くには大丈夫な石も高圧で吹くと飛ぶ可能性があり、残念ながらその場合の補修方法はありません。

少し水圧を落として洗うという方法がありますが、その場合は上記タイル・石貼りと同様に汚れも少ししか落ちなくなります。

このように高圧洗浄には素材 仕上げ方法によってはリスクを伴います。
せっかくのアフターサービスでご迷惑おかけするわけにはいきません。アフター担当者の判断によって洗浄ができればなる場合がありますから予めご了承ください。